

学 術 論 文

- 1) Kawahara, A., and Mikage, M., Studies on Toad Venom (3), Effect of Metals on the Quality of Toad Venom Torrefied on a Metal Plate, *YKKZAJ*, **122**(1), 117-119(2002).
- 2) 松村光重, 御影雅幸, 葛根の研究(1), 採集時期に関する史的考察, 日本東洋医学雑誌, **52**(4, 5), 493-499(2002).
- 3) 御影雅幸, 川本光重, 高橋志保子, 葛根の研究(2), 採集時期と含有成分の多寡, 日本東洋医学雑誌, **53**(5), 503-507(2002).
- 4) Mikage, M., and Takahashi, a., A field research of *Ephedra* plants in the province of Si-chuan, China, *Newsletter of Himalayan Botany*, No. 29, 14-17(2002. 1).
- 5) 吉澤千絵子, 御影雅幸, 多留淳文, 『医学天正記』に見られる芳春院殿(前田利家正室まつ)診療記録に関する考察, 薬史学雑誌, **38**(1), 82-92(2003. 6. 30).
- 6) 小穴久仁, 垣内信子, 江崎江二郎, 笠井美和, 光永徹, 伊藤進一郎, 御影雅幸, 鎌田直人, カシノナガキクイムシの穿孔によるミズナラの壊死変色部と健全材との成分の比較, 中森研, **51**, 189-190(2003).
- 7) Mikage, M., Takahashi, A., Hu-Biao CHEN and Quan-Song LI, Studies of *Ephedra* Plants in Asia. Part 1. On the resources of *Ephedra* plants in China, *Natural Medicines*, **57**(5), 202-208(2003).
- 8) Mikage, M., and Senoo, M., A Histological Study of the Leaves of *Cinnamomum tamala* and *C. impressinervium* (Lauraceae), and the Botanical Origin of Nepalese Natural Drug “Tejpat”, *J. Jpn. Bot.*, **78**(6), 330-335(2003).
- 9) Mikage, M., Yoshimitsu, M., Matsuo, A., Kawahara, K., and Kakiuchi, N., Evaluation of the Crude Drugs by means of Colorimeter. Part 5. Correlation between the Color and Curcumin Content of Turmeric, *Natural Medicines*, **57**(6), 246-249(2003).
- 10) Mikage, M., and Takahashi, a., A field research on *Ephedra* plants in Inner-Mongolia, China, *Newsletter of Himalayan Botany*, No. 31, 1-7(2003. 1).
- 11) 御影雅幸, 中国における生薬資源について-マオウを中心として-, 日中医学, **18**(1), 10-14(200. 5).
- 12) 小穴久仁, 垣内信子, 江崎功二郎, 光永 徹, 伊藤進一郎, 御影雅幸, 鎌田直人, ミズナラ樹皮に塗布したガロ酸・エラグ酸に対するカシノナガキクイムシの応答, 中部森林研究, **52**, (2004).
- 13) 小此木明, 樋口寛子, 宇野敏夫, 荻野文雄, 御影雅幸, 生薬に付着する真菌の実態, 防菌防黴学会誌, **32**(5), 235-242(2004).
- 14) Changfeng Long, Kakiuchi, N., Takahashi, A., Komatsu, K., Shaoqing Cai, Mikage, M., Phylogenetic analysis of the DNA sequence of the non-coding region of nuclear ribosomal DNA and chloroplast of *Ephedra* plants in China, *Planta Medica*, **70**(11), 1080-1084(2004).
- 15) Mikage, M., Kondo, N., Yoshimitsu, M., Nakajima, I., and Shao-qing Cai, Studies of *Ephedra* Plants in Asia. Part 2. On the Current situation of the Cultivation of *Ephedra* Plants in China, *Natural Medicines*, **58**(6), 312-320(2004).
- 16) CHEN Hu-baio, CAI Shao-qing, Mikage, M., KONDO, N., Comparative study on the original plant differences of Chinese traditional medicines and Japanese Kampo medicines, *China Journal*

- of *Chinese Materia Medica*, **29** (8), 715-718 (2004).
- 17) Mouri, C., Mikage, M., Noshiro, S., Distribution maps and a tentative key of *Berberis* (Berberidaceae) in Nepal, *Newsletter of Himalayan Botany*, No. 33, 26-32 (2004. 3).
 - 18) Mikage, M., Motomura, H., Yoshimitsu, M., Kondo, N., Nakajima, I., and Chang-Feng Long, Research on the cultivation of *Ephedra* plants in the Inner Mongolia Autonomous Region and Ningxia Huizu Autonomous Region, China, *Newsletter of Himalayan Botany*, No. 34, 7-15 (2004. 7).
 - 19) Takahashi, A., and Mikage, M., A Field Research on *Ephedra* Plants in Northern Pakistan, *Newsletter of Himalayan Botany*, No. 34, 1-6 (2004. 7).
 - 20) Changfeng Long, Kakiuchi, N., Guoyue Zhong, and Mikage, M., Survey on resources of *Ephedra* plants in Xinjiang, *Biol. Pharm. Bull.* **28** (2) 285-288 (2005).
 - 21) Yoshimitsu, M., Mikage, M., Namagawa, Y., Yamamoto, K., and Tazawa, K., Studies of Kshara, an Ayurvedic medicine (2), Preparation of alternative Kshara Sutra in Japan The Study of Kshara. Part 2. Production of Domestic Kshara Sutra in Japan. *J. Trad. Med.*, **22** (1), 12-15 (2005).
 - 22) 御影雅幸, 田邊 牧, 新村春香, 菅谷庸子, ニオイセンサーによる生薬の品質評価, *Natural Medicines*, **59** (2), 63-69 (2005).
 - 23) 御影雅幸, 田邊 牧, 新村春香, 菅谷庸子, ニオイセンサーによる生薬の品質評価, *Natural Medicines*, **59** (2), 63-69 (2005).
 - 24) Mikage, M., Motomura, H., Yoshimitsu, M., Yonekura, K., and Hu-Biao Chen, Studies of *Ephedra* Plants in Asia. Part 3. The Weed Problem in *Ephedra* Cultivated Field in China, *Natural Medicines*, **59** (3) 125-128 (2005).
 - 25) 吉澤千絵子, 井出万紀子, 御影雅幸, 麻黄に関する史的考察(1) 古来の正品並びに和産麻黄の原植物について, *薬史学雑誌*, **40** (2), 107-116 (2005).
 - 26) Mikage, M., Ikeda, H., Ohba, H., and Akiyama, S., Collaborative Research work for Plant Resources in Primorsky Region, Russia, *Newsletter of Himalayan Botany*, No. 35, 8-20 (2005. 1).
 - 27) Kakiuchi, N., Nakajima, I., Kurita, Y., Changfeng Long, Shaoqing Cai and Mikage, M., Studies on Cultivated *Ephedra* Plants in Inner Mongolia Autonomous Region and Ningxia Hui Autonomous Region. *Bio. Pharm. Bull.* **29** (4), 746-749 (2006).
 - 28) 吉澤千絵子, 井出万紀子, 御影雅幸, 麻黄に関する史的考察(2) トクサ属植物との混乱について, *薬史学雑誌*, **41** (1), 9-17 (2006).

総 説

- 1) Mikage, M., and Kakiuchi, N., The Recent Situation of the Resources of Chinese Crude Drug *Ma-huang*, *Ephedrae Herba*, *J. Trad. Med.*, **22** (Supplement 1), 61-69 (2005).

著 書

- 1) 久保道徳, 吉川雅之編, 御影雅幸 (分担執筆), 「医療における漢方・生薬学」, 広川書店, 東京, (2003).
- 2) 木村孟淳, 御影雅幸, 劉園英, 「中国医学」, 南江堂, 東京, (2005).

主 催 学 会

- 1) 御影雅幸, 垣内信子, 金沢大学薬学部附属薬用植物園・金沢大学21世紀COEプログラム共催, 加賀・能登の薬草シンポジウム (第3回), 2002. 6. 29 - 30, 石川郡白峰村.
- 2) 御影雅幸, 垣内信子, 金沢大学薬学部附属薬用植物園・金沢大学21世紀COEプログラム共催, 加賀・能登の薬草シンポジウム (第4回), 2003. 10. 4 - 5, 石川郡白峰村.
- 3) 御影雅幸, 垣内信子, 金沢大学薬学部附属薬用植物園・金沢大学21世紀COEプログラム共催, 加賀・能登の薬草シンポジウム (第5回), 2004. 5. 22 - 23, 輪島市.
- 4) 御影雅幸, 垣内信子, 金沢大学薬学部附属薬用植物園・金沢大学21世紀COEプログラム共催, 加賀・能登の薬草シンポジウム (第6回) - 環日本海域における有用植物の過去と現在-, 2005. 10. 8 - 9, 加賀市.
- 5) 御影雅幸, 垣内信子, 金沢大学薬学部附属薬用植物園・金沢大学21世紀COEプログラム共催, 加賀・能登の薬草シンポジウム (第7回) - 環日本海域における有用植物の現在と未来-, 2006. 10. 7 - 8, 輪島市.

招 待 講 演

- 1) 御影雅幸, ヒマラヤ産マオウ科マオウ属植物の組織形態ならびに成分化学的研究, 中華民国生薬学会九十一年度第四回第二次学術検討会, 第15回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 2002. 5. 4, 中華民国高雄市.
- 2) 御影雅幸, 生薬品質の再評価- 伝統は継承されているか-, 第53回日本東洋医学会学術総会, 2002. 5. 31, 名古屋.
- 3) 御影雅幸, 生薬の産地と品質, 第43回三多摩漢方研究会, 2002. 6. 22, 東京.
- 4) 御影雅幸, 中国における麻黄資源の現状, 日本東洋医学会北陸支部特別講演会, 2003. 3. 9, 福井市.
- 5) 御影雅幸, Kshara Sutra の国産化, 北陸肛門疾患懇談会, 2003. 3. 15, 金沢市.
- 6) 御影雅幸, 麻黄の資源と栽培問題, 第54回日本東洋医学会・ランチョンセミナー, 2003. 5. 18, 福岡市.
- 7) 御影雅幸, 中国の麻黄資源と栽培問題, 薬用植物フォーラム2003, 2003. 7. 18, つくば市.
- 8) 御影雅幸, 和漢薬資源の現状と確保, 第20回和漢医薬学会大会, 2003. 8. 31, 熊本市.
- 9) 御影雅幸, 世界の伝統医学における生薬利用の異同, 日本東洋医学会北陸支部湯本求真記念学術講演会, 2003. 9. 23, 金沢市.

- 10) 御影雅幸, 慧海の見たチベットの医療と薬, 東北大学総合学術博物館公開講座: チベット探訪, 2004. 1. 31, 仙台市.
- 11) 御影雅幸, 麻黄附子細辛湯の構成生薬について, 第21回和漢医薬学会大会ランチョンセミナー, 2004. 8. 21, 富山市.
- 12) 御影雅幸, 痔瘻治療糸Kshara Sutraの国産化の試みと臨床成績, 第59回日本大腸肛門病学会総会, 2004. 11. 5, 久留米市.
- 13) 御影雅幸, 食材と薬効- 薬食同源のススメ, 牧野植物園特別講演会: 漢方- 現代に伝わる中国の知恵-, 2005. 1. 22, 高知市.
- 14) 御影雅幸, 心と身体と漢方- アーユルヴェーダの心の病-, 第38回日本漢方交流会全国学術総会, 2005. 11. 20, 広島市.
- 15) 御影雅幸, アーユルヴェーダの実践, 第29回日本アーユルヴェーダ学会総会, 2006. 9. 24, 富山市.

国内学会発表状況

- 1) 御影雅幸, 高橋 晃, 陳虎彪, 李泉森, 中国産マオウ属植物の研究(1), 「麻黄」原植物の資源状況, 第123会日本薬学会総会, 2003. 3. 27, 福岡.
- 2) 御影雅幸, 胡井俊祐, 隆長鋒, 垣内信子, 李泉森, 中国産マオウ属植物の研究(2), 青海省産「麻黄」の原植物について, 第123会日本薬学会総会, 2003. 3. 27, 福岡.
- 3) 御影雅幸, 吉澤千絵子, 奥津利晃, 高橋志保子, 橋本美保, 古賀章子, 李泉森, 中国産マオウ属植物の研究(3), 四川省産マオウ属植物のアルカロイド, 第123会日本薬学会総会, 2003. 3. 27, 福岡.
- 4) 御影雅幸, 吉光見稚代, 色彩計による生薬の品質評価(9), 粉末生薬の経年による色彩変化, 第123会日本薬学会総会, 2003. 3. 27, 福岡.
- 5) 御影雅幸, 吉光見稚代, 松尾亜伊, 川原一仁, 色彩計による生薬の品質評価(10), ウコンの色彩とクルクミン含量, 第123会日本薬学会総会, 2003. 3. 27, 福岡.
- 6) 御影雅幸, 小此木明, 大黄成分に及ぼす真菌の影響, 第123会日本薬学会総会, 2003. 3. 27, 福岡.
- 7) 御影雅幸, 中田貴子, 垣内信子, 黄連ベルベリンの簡易定量法と品質評価について, 2003. 3. 27, 福岡.
- 8) 毛利千香, 御影雅幸, メギ根中アルカロイド含量に影響を及ぼす環境要因- 気象要素と土壤微生物の有無-, 第123会日本薬学会総会, 2003. 3. 27, 福岡.
- 9) 垣内信子, 西川富美子, 福田宏太郎, 西川諭, 培養細胞を用いたHCVプロテア- ゼアッセイ系の構築とアプタマーの効果, 第123会日本薬学会総会, 2003. 3. 28, 福岡.
- 10) 御影雅幸, 近藤直子, 吉光見稚代, 中島育美, 蔡少青, 中国産マオウ属植物の研究(6), 栽培状況について, 日本薬学会第124年会, 2004. 3. 29 - 31, 大阪.
- 11) 御影雅幸, 本村浩之, 吉光見稚代, 米倉浩司, 陳虎彪, 中国産マオウ属植物の研究(7), 麻黄栽培地の雑草について, 日本薬学会第124年会, 2004. 3. 29 - 31, 大阪.
- 12) 御影雅幸, 井出達也, 近藤直子, 中国産マオウ属植物の研究(8), 種子発芽時の耐塩性, 日本薬学会第124年会, 2004. 3. 29 - 31, 大阪.
- 13) 近藤直子, 隆長鋒, 山下篤子, 鐘国躍, 御影雅幸, 中国産マオウ属植物の研究(9), 四川省産「麻

- 黄」の原植物, 日本薬学会第124年会, 2004. 3. 29 - 31, 大阪.
- 14) 隆長鋒, 垣内信子, 御影雅幸, 中国産マオウ属植物の研究(10), 核及び葉緑体non-coding DNAの解析, 日本薬学会第124年会, 2004. 3. 29 - 31, 大阪.
 - 15) 吉澤千絵子, 北出万紀子, 御影雅幸, 中国産マオウ属植物の研究(11), 漢薬「麻黄」の古来の原植物に関する考証研究, 日本薬学会第124年会, 2004. 3. 29 - 31, 大阪.
 - 16) 毛利千香, 高橋晃, 御影雅幸, ネパール生薬”Chutro”の基源解明, 日本薬学会第124年会, 2004. 3. 29 - 31, 大阪.
 - 17) 谷口夕理, 垣内信子, 御影雅幸, 勝山附子の研究, 日本薬学会第124年会, 2004. 3. 29 - 31, 大阪.
 - 18) 江原利彰, 垣内信子, 御影雅幸, 大黃の修治に関する研究, 日本薬学会第124回年会, 2004. 3. 29 - 31, 大阪.
 - 19) 御影雅幸, 近藤直子, 吉澤千絵子, 垣内信子, 陳虎彪, 蔡少青, 高橋晃, 安田和弘, 高橋志保子, 中国産マオウ属植物の研究(12), 内モンゴル産マオウ属植物のアルカロイド, 日本生薬学会第51回年会, 2004. 9. 9, 神戸.
 - 20) 御影雅幸, 吉光見稚代, 「金沢糸1号」完成の経緯, 日本アーユルヴェーダ学会第26回研究総会, 2004. 11. 27 - 28, 札幌.
 - 21) 吉光見稚代, 青山友紀, 御影雅幸, 金沢糸1号の改良研究, 日本アーユルヴェーダ学会第26回研究総会, 2004. 11. 27 - 28, 札幌.
 - 22) 奥津果優, 吉光見稚代, 小此木明, 御影雅幸, Ksharaの応用研究- 原料植物とその構成元素-, 日本アーユルヴェーダ学会第26回研究総会, 2004. 11. 27 - 28, 札幌.
 - 23) 隆長鋒, 垣内信子, 北岡文美代, 大場秀章, 御影雅幸, 日本産及び韓国産アケビ属植物の遺伝子分析, 日本薬学会第125年会, 2005. 3. 27 - 29, 東京.
 - 24) 渥美聡孝, 垣内信子, 中村憲夫, 服部征雄, 御影雅幸, 茯苓の性状と成分との相関, 日本薬学会第125年会, 2005. 3. 27 - 29, 東京.
 - 25) 表貴之, 木谷友紀, 朱妹, 小松かつ子, 御影雅幸, *Ephedra*属植物の遺伝子解析とモンゴル産同属植物の有用性に関する研究(1), 日本生薬学会第52回年会, 2005. 9. 16 - 17, 金沢.
 - 26) 垣内信子, 井上景子, 大久保圭祐, 栗田幸昌, 御影雅幸, 津田喜典, パキスタン北部の*Ephedra*属植物資源, 日本生薬学会第52回年会, 2005. 9. 16 - 17, 金沢.
 - 27) 三浦明子, 吉光見稚代, 御影雅幸, ウコンの精油の抗菌活性, 日本アーユルヴェーダ学会第27回研究総会, 2005. 11. 12 - 13, 静岡.
 - 28) 御影雅幸, 大久保圭祐, 吉光見稚代, Kshara Sutra作製用乳液の代替と保存方法の検討, 日本アーユルヴェーダ学会第27回研究総会, 2005. 11. 12 - 13, 静岡.
 - 29) 渥美聡孝, 垣内信子, 御影雅幸, 漢薬「茯苓」の核rDNA解析による産地特定の検討, 日本薬学会第126年会, 2006. 3. 28 - 30, 仙台.
 - 30) 垣内信子, 栗田幸昌, 中島育美, 御影雅幸, 中国産マオウ属植物の研究(14), 寧夏回族自治区における栽培マオウの種同定とエフェドリン型アルカロイド含量, 日本薬学会第126年会, 2006. 3. 28 - 30, 仙台.
 - 31) 木谷友紀, 表貴之, Shu Zhu, 田中謙, 小松かつ子, 御影雅幸, *Ephedra*属植物の遺伝子解析とモンゴル産同属植物の有用性に関する研究(2), 日本薬学会第126年会, 2006. 3. 28 - 30, 仙台.
 - 32) 小野直美, 吉澤千絵子, 毛利千香, 垣内信子, 御影雅幸, 「赤芍」「白芍」の歴史の変遷と成分的特徴についての研究, 日本薬学会第126年会, 2006. 3. 28 - 30, 仙台.
 - 33) 遠藤寛子, 吉澤千絵子, 御影雅幸, 漢方生薬「釣藤鈎」の薬用部位に関する史的考察, 日本薬学会第126年会, 2006. 3. 28 - 30, 仙台.

- 34) 岡田岳人, 山崎真巳, 御影雅幸, 関田節子, Ephedrine 系アルカロイド生合成に關与するpal 遺伝子のクローニング, 日本薬学会第126年会, 2006. 3. 28 - 30, 仙台.
- 35) 渡辺明日香, 吉光見稚代, 御影雅幸, アーユルヴェーダ生薬HARITAKIのタンニン含量について, 第28回日本アーユルヴェーダ学会研究総会, 2006. 9. 23 - 24, 富山.
- 36) 奥津果優, 吉光見稚代, 御影雅幸, Ayurveda薬酒「asava」, 「arishta」の理化学的特性, スリランカにおけるKsharaの製造方法, 2006. 9. 23 - 24, 富山.
- 37) 吉光見稚代, 奥津果優, 御影雅幸, スリランカにおけるKsharaの製造方法, 2006. 9. 23 - 24, 富山.
- 38) 安食菜穂子, 富樫睦子, 吉光見稚代, 御影雅幸, 川原信夫, 色彩計による生薬の品質評価(第2報), 日本生薬学会第53回年会, 2006. 9. 29 - 30, 埼玉.
- 39) Fen Xu, Kakiuchi, N., and Mikage, M., Monthly variations of ephedrine alkaloids contents of *Ephedra sinica* and *E. gerardiana* cultivated in Kanazawa, The 53rd Annual Meeting of The Japanese Society of Pharmacognosy, 2003. 9. 29 - 30, Saitama.
- 40) 松山和寛, 達川早苗, 垣内信子, 御影雅幸, 生薬「附子・烏頭」の原植物の栽培研究- 栽培時における摘心および深植への効果-, 日本生薬学会第53回年会, 2006. 9. 29 - 30, 埼玉.
- 41) Lili Wang, Fushimi, N., Inoue, K., Sakai, M., Kakiuchi, N., Mikage, M., An anatomical study of *Ephedra* Plants grown in Mongolia, The 53rd Annual Meeting of The Japanese Society of Pharmacognosy, 2003. 9. 29 - 30, Saitama.
- 42) 北岡文美代, 糸賀舞, 垣内信子, 御影雅幸, 四国産Akebia属植物のDNA研究, 日本生薬学会第53回年会, 2006. 9. 29 - 30, 埼玉.

来学した外国人研究者

- 1) 蔡少青教授, 張強教授, 張亮仁副教授, 解冬雪副教授, 北京大学薬学院, 中国, 2002. 10. 6 - 9.
- 2) 斉憲栄副教授, 梁鴻副教授, 北京大学薬学院, 中国, 2003. 11. 22 - 24.
- 3) Dr. Hari Shankara Sharma, Dean, Institute for Post graduate Teaching and Research, Gujrat Ayurveda University. 2006. 9. 25.

他研究機関との共同研究状況

- 1) 御影雅幸, マオウ属植物の学際的調査研究, 蔡少青, 北京大学医学部薬学系, 2001- 現在.
- 2) 御影雅幸, マオウ属植物の学際的調査研究, 鐘国躍, 重慶市中医薬研究院, 2001- 現在.
- 3) 御影雅幸, マオウ属植物の遺伝子解析研究, 小松かつ子, 富山大学和漢医薬学総合研究所, 2001- 現在.
- 4) 御影雅幸, マオウ属植物のアルカロイド生合成遺伝子に関する研究, 関田節子, 徳島文理大学薬学部, 2005- 現在.

博士取得状況

- 1) 小此木明, 博士(薬学), 生薬に付着する真菌類の実態と生薬品質への影響, 2004. 3.
- 2) 吉光見稚代, 博士(薬学), アーユルヴェーダ薬線Kshara Sutraの研究, 2005. 3.
- 3) 隆 長鋒, 博士(薬学), 中国産マオウ属植物の分子遺伝学的研究, 2005. 3.
- 4) 吉澤千絵子, 博士(薬学), 漢方生薬「防己」および「麻黄」の史的考察, 2006. 3.

学術賞等の受賞状況

- 1) 安食菜穂子, 「Natural Medicine」論文賞, 味認識装置による漢方処方味の評価に関する研究, 1996. 9.

科学研究費等の受領状況

- 1) 御影雅幸(代表), 学術振興会科学研究 基盤B, アジア産マオウ科マオウ属植物の学際的調査研究, 平成13-15年, 13,100千円.
- 2) 御影雅幸(分担), 学術振興会科学研究 基盤B, 人工衛星データ活用のための東アジアの植生調査, 平成14-17年, 12,700千円.
- 3) 御影雅幸(代表), 学術振興会科学研究 基盤B, マオウ科植物の形態ならびに成分化学的多様と種分類に関する調査研究, 平成17-19年, 13,300千円.

その他(海外学術調査)

- 1) 御影雅幸, ネパール(カトマンズ), 薬物市場調査, 2002. 5. 12 - 17.
- 2) 御影雅幸, 中国(内蒙古自治区), 薬用植物資源調査, 2002. 6. 17 - 7. 1.
- 3) 御影雅幸, 中国(四川省), マオウ属植物の調査, 2002. 8. 20 - 8. 21.
- 4) 御影雅幸, 中国(広東省), 生薬市場調査, 2003. 2. 24 - 3. 1.
- 5) 御影雅幸, パキスタン(北部), マオウ属植物の調査, 2003. 6. 29 - 7. 13.
- 6) 御影雅幸, 中国(内蒙古自治区), マオウ属植物の調査, 2003. 7. 29 - 8. 12.
- 7) 御影雅幸, 中国(寧夏自治区), マオウ属植物の調査, 2003. 9. 8 - 15.
- 8) 御影雅幸, 吉光見稚代, ロシア(沿海州), 薬用植物資源調査, 2004. 8. 3 - 15.
- 9) 御影雅幸, 中国(吉林, 河北, 山東省), 薬用植物資源調査, 2004. 9. 15 - 23.
- 10) 御影雅幸, ミャンマー, 伝統医学の調査, 2005. 3. 13 - 19.
- 11) 御影雅幸, 吉光見稚代, ロシア(沿海州), 薬用植物資源調査, 2005. 6. 24 - 7. 1.
- 12) 御影雅幸, 中国(内蒙古自治区, 河北省), 薬用植物資源調査, 2005. 7. 9 - 16.
- 13) 御影雅幸, マレーシア(ボルネオ島), 薬用植物資源調査, 2005. 12. 10 - 16.

- 14) 御影雅幸, モンゴル, マオウ属植物の調査, 2005. 7. 27 - 8. 10.
- 15) 御影雅幸, 達川早苗, 2005. 9. 20 - 30.
- 16) 御影雅幸, 吉光見稚代, 奥津果優, スリランカ(コロンボ), アーユルヴェーダ薬物の調査研究, 2006. 18 - 23.
- 17) 御影雅幸, 中国(河北省), *Ephedra sinica*自生地の調査, 2006. 5. 7 - 10.
- 18) 御影雅幸, 中国(新疆省, 甘肅省), マオウ属植物の調査, 2006. 6. 21 - 7. 18.
- 19) 御影雅幸, ロシア(ブリアチア共和国), マオウ属植物の調査, 2006. 8. 4 - 12.
- 20) 御影雅幸, 中国(河北省), *Ephedra sinica*自生地の調査, 2006. 8. 22 - 25.
- 21) 御影雅幸, ロシア(沿海州), 薬用植物資源調査, 2006. 9 3 - 8.
- 22) 奥津果優, スリランカ(コロンボ), アーユルヴェーダ薬物の調査研究, 2006. 12. 10 - 25.